

平成30年防災功労者内閣総理大臣表彰、金田義行特任教授が受賞

防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体または個人を対象として表彰されるものです。

【功績の概要】

金田義行特任教授は、防災減災に関する研究開発活動並びに普及啓発活動などにおいて、国内外で多くの実績を有しています。研究開発活動においては、文部科学省の南海トラフ巨大地震研究プロジェクトや地震津波シミュレーション研究の研究代表者として研究を指揮し、南海トラフ巨大地震の解明と被害軽減に関わる研究成果の普及広

報を行っています。また、文部科学省のプロジェクトとして、国立研究開発法人海洋研究開発機構及び国立研究開発法人防災科学技術研究所と共同で、南海トラフ巨大地震・津波の早期検知や地震発生過程をモニタリングするための地震津波・観測監視システム(DONET)を開発。さらにDONET情報と津波シミュレーションを統合したリアルタイム津波浸水予測システムも開発し、地震津波の早期検知や巨大地震発生帯のモニタリングによる防災体制の推進に多大な貢献をしました。普及啓発活動においても、南海トラフ巨大地震・津波の被害想定地域での様々な講演、サイエンスカフェ・塾や新聞コラムの連載等の活動を通じて、地域コミュニティの防災減災のリテラシー向上並びに人材育成に貢献しました。



金田義行特任教授
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
副機構長、地域強靱化研究センター長

さらに、トルコにおける地震津波被害軽減・防災教育を目的としたSATREPSプロジェクトの研究指揮をはじめ、台湾における地震津波モニタリングに関する研究やラテンアメリカ及びカリブ海沿岸国の被害軽減コンソーシアムのアドバイザーを務めるなど、海外での防災減災研究活動においても貢献しています。

「海の中を覗いてみよう！海と日本PROJECT」を開催

9月2日、瀬戸内圏研究センターは、日本財団からの依頼を受け、高校生対象に「海の中を覗いてみよう！海と日本PROJECT」を庵治マリンステーションにおいて開催しました。日本は四方を海に囲まれた海洋大国と言われているにもかかわらず、海について学校ではあまり学ばれていないため、本取組により、身近な海について学び、さらに、それらを通じて、次世代を担う若者に「海」への興味や関心を高めてもらうことを目的としています。調査船カラヌスIIIでの実習も予定どおり実施。参加者22名は2班に別れ、講義・顕微鏡観察と調査船での海洋観測を行いました。講



義・顕微鏡観察では、海での食物連鎖や海洋環境等について学び、顕微鏡を使ってプランクトンの観察を行いました。調査船での海洋観測では、約5km離れた志度湾において、海底泥の採取やプランクトンの採集等を行い、実際に小さな生き物を手に取り確認するなど、海の生態を学びました。



じゅじゅむ

「じゅじゅむ」とは…「にじむ」という意味です。墨をたっぷり含ませた筆をもって力強く書き出したものの墨をつけすぎてにじんでしまった！というとき「じゅじゅんでしょ！」と言ったりします。なお、この「じゅじゅむ」とはじゅじゅっと染みこんでいく様子からできた言葉という説があります。

発行：香川大学広報室
soumkot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学ホームページ
https://www.kagawa-u.ac.jp/



理事閑話

香川の地で学ぶ

本年4月に就任しました。3月まで女子大で勤務していましたので、男子学生（もちろん女子学生も）の元気な声が響くキャンパスの活気ある様子が印象的でした。四国での勤務は初めてですが、緑豊かで気候は温暖、人々もおおらかな住みやすい土地柄と感じました。道や交通機関を訊ねても親切に教えてもらえました。空港行きのバスが満席のとき、運転手さんが停留所ごとに乗車口まで降りて「次のバスを利用して下さい」と丁寧な説明の様子が大変印象的でした。香川は四国の玄関口であり、高松など行政・経済等の拠点として都市機能を持つと同時に、豊かな自然に恵まれており、晴れた日の瀬戸内海の美しさなど目を見張るものがあると思います。また、源平古戦場跡や四国霊場など歴史の名所も数多い一方で、四国初のプロオーケストラが結成され瀬戸内国際芸術祭が開催されるなど、新しい文化への取組みも盛んに行われていると思います。自然と文化、歴史のものと新しいものがバランスよく存在しているところが、香川の魅力の一つではないかと感じています。もちろん食

香川大学理事・副学長（企画・評価・広報担当）舟橋 徹

べ物も、「うどん」は言うに及ばず、瀬戸内の海の幸やフルーツなどもとてもおいしいと思います。このような地で学ばれる学生の皆さんには、香川の魅力を楽しみつつ、充実した学生生活を送っていただきたいと思います。現在、全国に86ある国立大学は、それぞれが個性・特徴を持った各地域の拠点であると同時に、すべての都道府県に設置され、国全体の教育・研究を支える基盤の役割も有しています。そのため、昨今厳しさを増しているとは言え国の様々な支援を受けており、それは国立大学で学ばれる学生の皆さんへの国民の期待の現れでもあると思います。学生の皆さんはご自身の意欲や将来への希望をもとに勉学に励まれていることと思いますが、その香川発の学びの成果を大いに発揮して、地域はもとより我が国の未来を担うご活躍をいただきたいと思います。



香大サークル紹介



合唱団

私たちは8月にあるコンクール、12月にある演奏会に向けて、週3回楽しく練習をしています♪他にも夏合宿や団内発表などの楽しい行事も盛りだくさん！(^)！コンクールや定期演奏会に向かって仲間同士で切磋琢磨する毎日。人を感動させる歌を歌ってみませんか？ここでは多くの仲間と出会えます。その仲間とともに切磋琢磨し、ステージで一緒に歌ったあとの達成感、他では味わえないほど気持ちいいです！



剣道部

切り返し、自由稽古、打ち込み、係り稽古、地稽古等、部員一同全力を尽くして取り組んでいます。大学から剣道を始めた者もいます。どなたでもお気軽に見学に来てください。一緒に頑張りましょう！



医学部 スキー部

私たちスキー部は、夏はフットサルやバドミントン、アルティメットなどの球技を中心に、楽しく体力作りをし、冬は週2回スキー場での練習を行っています。3月に行われる西医体むけて、冬と春には2回合宿を行います。部員は皆、学年を問わずとても仲良しで、互いに励まし合いながら、楽しくスキーの練習に励んでいます。